

事業所名

チャイルドサポート うらそえ

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

6年

4月

1日

法人（事業所）理念	（会社）全社員及びその家族の物心両面の幸せを追求する。謙虚にしておごらず人格を高め地域社会に貢献する。 （事業所）事業所に関わるすべての人の笑顔を増やす。							
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様一人一人の発達状態に応じて安心して過ごせて、心身の調和による発達を促せるように支援します。</li> <li>・社会適応の範囲内で最大限「自分らしさ」が発揮できるようなスキルの獲得と環境調整を当事業所は療育方針として取り入れています。</li> </ul>							
営業時間	9時	30分	から	16時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの心身の状態をきめ細やかに確認し、小さなサインでも心身の異変に気づけるようにきめ細かな観察を行って行きます。</li> <li>・持ち物の管理・道具や道具の用意と片付けなど環境の整備を自立的に行えるように支援します。複数の部屋を使ったり、パーティションを用意したりして、自分の事に集中しやすい環境をつくります。タイマーや絵カード、文字のスケジュール表などを使って予定をわかりやすく見える化しながら伝えます。</li> </ul>						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の部屋を使い好きな時間を設けながら姿勢・移動・体力づくり・ジャンプ・サーキットなど特性に応じて体の発達を促す訓練を行っていくように支援します。</li> </ul>						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知形成</li> <li>・小集団でのゲームでの適切な行動形成</li> </ul>						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの手段では絵カードや身振りや文字を活用しながらやりたい事を伝えられるように沢山の手段を活用します。</li> <li>・終わりの会で一人一人、活動を振り返り自分の気持ちを発表できるような環境を作り、支援していきます。言葉の理解・表現を通して日常生活の中でつかえるような言葉を増やせていくようにひらがなをなぞる、単語を読むなど文字に親しむ機会を設けながら支援していきます。</li> </ul>						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動や、集団遊びの時間を通して、順番に行う、ルールを守る、お友達と協力する、失敗や負けを受け入れるなどスキルを身につける機会をつくります。</li> <li>・イベントなど通じた地域との交流を行い、肯定的な関りができるようにスタッフが見本を見せたり、助言をしたりして関りを増やせるように支援します。</li> </ul>						
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、保護者会を実地し、ご家族の生活状況やお困りごとを聴取する機会を作って行きます。</li> </ul>			移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来的な移行に向けた準備・放課後児童クラブ等と並行利用先との連携や情報共有したりします。</li> </ul>			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の通所支援事業所との交流と情報交換をし、連携を図ります。</li> </ul>			職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の各種勉強会や研修への参加</li> <li>・毎朝のミーティングで情報を共有してその子にあった支援のプログラムを提供したりします。</li> </ul>			
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠足・クッキング・野外活動・買い物体験・保護者会・職場見学・事業所の交流・各行事のイベント・避難訓練・不審者訓練</li> </ul>							